

## 第1回流山市補助金等審議会会議録

- 1 開催日時 平成27年11月4日(水) 午前9時30分から
- 2 場 所 流山市役所第2庁舎3階302会議室
- 3 出席委員 山口会長、西村副会長、川勝委員、廣田委員、光川委員、大久保委員、中村委員
- 4 欠席委員 なし
- 5 事務局 手嶋財政部長、安井財政部次長兼財政調整課長、福吉課長補佐、村山主査、加藤臨時職員
- 6 傍聴者 なし
- 7 議 題
  - (1) 平成28年度予算における補助金等について(諮問)
  - (2) その他
- 8 配布資料
  - (1) ヒアリング実施補助金一覧
  - (2) 平成27年度流山市補助金等審議会開催日程表(平成28年度予算)
  - (3) 評価表
  - (4) 補助金等審査の判断基準
  - (5) 平成28年度補助金要求一覧

開 議 9時28分

(山口会長)

ただいまから、第1回流山市補助金等審議会を開催いたします。

本日の会議は、出席7名、全員出席ですので、会議は成立していることをご報告します。

なお、あらかじめご報告申し上げますが、流山市では、審議会等の会議は原則公開としておりますことから、今後も本審議会は公開といたしますので、あらかじめご理解をいただきたいと思います。

それでは、議題(1)の「平成28年度予算における補助金等について(諮問)」

を議題といたします。

事務局お願いします。

(安井次長)

おはようございます。

本来ですと、市長から諮問を行うところですが、市長の日程調整が出来ませんでしたので、代わりに財政部長から当審議会への諮問書を会長にお渡しいたします。

**【部長が諮問書を読み上げ、会長に諮問書を交付】**

**【事務局から各委員に諮問書の写しを配布】**

(山口会長)

只今、当審議会に対して、「平成28年度予算における補助金等について」について諮問がありました。

事務局に今回の諮問についての説明をお願いします。

(手嶋部長)

財政部長の手嶋でございます。

審議会の委員の皆様には、お忙しい中お集まりいただきありがとうございます。

昨年度、3年に一度の全件の補助金を対象としたご審議、更には、平成27年度予算要求に伴う補助金に対する審議を合わせ、計20回の審議会を開催していただき、長時間に及ぶ真剣なご審議をいただくとともに、多くの貴重なご意見、ご指摘を答申書にまとめていただきました。改めて深くお礼を申し上げます。

市といたしましても、予算編成作業におきまして、頂戴した答申内容を真摯に受け止め、審議会からのご指摘について改善を図るよう検討し、平成27年度当初予算に概ね反映することが出来たものと、認識しております。

只今、諮問させていただきました案件は、各部局から平成28年度の予算要求のあった補助金について、ご審議いただくものでございます。

具体的には、平成28年度当初予算要求のある補助金のうち、市が単独で交付を行う補助金で、増額を予定しているもの及び新規の補助金として要望があったものについて、諮問させていただくものです。

委員の皆様には、年末にかかる大変お忙しい中で、ご審議いただく事になりますが、何とぞ、ご理解とご協力をいただき、忌憚のない御意見を頂戴出来ますようお願いいたします。

以上、簡単ではございますが、ご説明とご挨拶とさせていただきます。

(安井次長)

続きまして、今回の諮問について説明いたします。

現在、平成28年度予算編成方針に基づき、新年度の予算編成作業を行っていますが、今年度の審議会につきましても、例年どおり予算要求がありました補助金につい

て、皆様にご審議いただき、新年度予算に反映させるものです。

昨年度は、3年に一度のすべての補助金の審査及び、平成27年度予算要求のあった新規・増額要求のあった市単独の補助金について、それぞれ、ご審議いただき、答申をいただきました。改めまして、深くお礼を申し上げます。

また、昨年いただいた2つの答申の中で、C評価であった「職員互助会補助金」「勤労者互助会補助金」「商業振興共同施設維持管理費補助金」の3件については、今年3月末日付けで、その方向性について、皆様に簡易なご報告を申し上げましたが、今年度の審議会の中で、担当課から、その後の取り組み等について、御報告をさせていただきたいと考えております。

今回の平成28年度の補助金の予算要求は、これまで、審議会からいただいた答申の内容を踏まえ、要求がされているものと認識しております。

例年、新年度予算に係る審議は、市単独の補助金のうち、新規要求の補助金及び増額要求の補助金を審議の対象としており、今回の審議もこの枠組みでお願いしたいと考えています。

「資料1」が今回のヒアリング審議の対象となる新規及び増額となった市単独補助金の一覧です。

なお、「No.1 政務活動費」については、前回の補助金等審議会の答申で、本件は、「議会の議論に委ねる」との答申を受けている事、また、今回の増額の要因は、今年度、議員の改選があり、平成27年度の該当する月数が10ヶ月分だったのに対して、平成28年度は、一年分の12ヶ月分が該当となったことから増額となったもので、この政務活動費の制度自体を改正し、増額となったものではないことから、この政務活動費については、ヒアリングの対象外とさせていただき、計25件をヒアリングの対象とさせていただきました。参考に、昨年ヒアリング対象は22件でした。昨年より3件増になりました。

また、「資料1」のそれぞれの補助金についての「補助金等適正化・実行プラン」が別途ファイルに綴じて本日お手元に配付してございます。

次に、審議会の日程案ですが、「資料2」として配付いたしました。日程については、皆様に事前にお知らせしておりましたが、毎週水曜日の9時30分からとさせていただきます。

審議会の内容、回数については、昨年度と同様なスケジュールで今回事務局案として、作成いたしました。

12月16日（水）の審議会を最終回として、その日に答申ができればと考えておりましたが、議会日程の関係で、その日に市長の日程が取れないことから、答申日を翌週の24日（木）の午前11時から市長への答申日を別途確保して日程を調整させていただきました。

後ほど、日程についても、ご議論いただければと思います。

「資料3」は、ヒアリング対象の補助金についての各委員の皆様に評価A B C Dを付けていただく評価表です。今回も、時間があまり無いので事前にある程度実行プラ

ン等を見ていただければと思ひまして、本日配付させていただきました。

「資料4」は、参考に、昨年度の「評価の基準」を配付いたしました。評価の基準については、昨年と同じで良いかご審議いただければと思ひます。

「資料5」は、平成28年度予算要求のあった全補助金の一覧です。昨年度27年度予算額、本年度28年度予算要求額、単独、補助などで分類をし、一覧表として参考にまとめたものです。

なお、これらの今回、審議対象外の「補助金等適正化・実行プラン」についても、只今事務局で整理しておりますので、後日、委員の皆様には、参考に配付させていただく予定です。

以上で私からの説明は終わります。よろしくお願ひいたします。

(山口会長)

ありがとうございました。

ただ今事務局から説明がありましたように、市単独補助金で新規、増額要求の補助金の審議、あわせて、昨年度の総合評価Cであったもの、本年度に補正予算として計上したものがヒアリング対象となります。

日程は、毎週水曜日、市長の答申は、12月24日木曜日という提案がありました。

ヒアリングは、昨年同様5項目の評価、コメントで答申をまとめていき、補助金等の判断基準は、前回と同じで良いか、事務局からの説明がありました。

まず、ヒアリングの聴取は、「資料1」ヒアリング実施補助金一覧のとおりでよろしいですか。

この中で、まったくの新規のものがありますか。

(事務局)

前年度0円で要求額があるものの中で制度自体は、あったものがございますので、まったくの新規は、「No.11 農業振興資金利子補給金」「No.12 農業水産業の振興に関する補助金(認定農業者支援事業)」「No.17 ポイントカード事業補助金」の3件です。

(川勝委員)

新規ができたことによる廃止は、ありますか。

(事務局)

ありません。

(川勝委員)

純粋な新規という理解でよろしいですか。

(事務局)

はい。

(山口会長)

ヒアリング対象の補助金は、これでよろしいですか。

意見がないようでしたら、ヒアリング対象は、これでいきたいと思ひます。

日程は、「資料2」のとおり、毎週水曜日、市長への答申は、12月24日木曜日

でよろしいですか。

(光川委員)

12月24日は、会議で欠席するかもしれません。

(山口会長)

他の方は、大丈夫ですか。

光川先生以外の方の都合は、良いようなので、光川先生は、都合が良ければ出席ということで、この日程にしたいと思います。よろしくをお願いします。

次に、「資料3」の評価表は、メール等のやり取りをし、市の事務局でまとめてもらい、審議していきたいと思います。

次に、「資料4」の補助金等審議の判断基準は、前回と同じですが、ご意見は、ありますか。

(西村副会長)

昨年と同じ評価基準の方が良いと思います。

(山口会長)

では、この評価基準にそって判断をお願いします。

他に質問等がありましたらお願いします。

(西村副会長)

今年の予算額や補助金額に反映している市の重点施策は、何ですか。

(安井次長)

子育てにやさしいまちを目指し、定住人口を増やし持続可能なまちをつくることを重点施策としています。

(手嶋部長)

補助金そのものではありませんが、福祉手当という障害者の方に市単独で助成しているものがあります。市単独なものは、見直しをしようとしています。福祉手当は今年減額した上で、障害者の方が将来入るグループホーム等の建設などにいくよう、基金に積む仕組みに変えることとしました。

高齢者の方に支給している一時金についてもそうですが、社会保障関連の支出が非常に増えています。一件一件精査して重点化をしていかないと、予算の中に占める割合がどんどん増えています。消費税が8%になったことで市に入るお金が増えましたが、10%になっても足りませんので、重点化しつつ、その中でも見直しをしていくことが必要と思います。

(山口会長)

前回の答申にもふれましたが、高齢化社会のため、歳出は伸びていくのは目に見えています。財政の見直しは、必要なことだと思います。

(川勝委員)

全体的に補助金は、審議をしても右肩上がりですか。

(安井次長)

国が政策的に配るものが増えている傾向があります。

市が政策の判断でどうしてもやっていかなくてはいけないものは、適正化しています。

(山口会長)

国の増え方と市の増え方は、一緒にしない方が良いと思います。

市は、あまり増えていないと思います。

(川勝委員)

スクラップアンドビルドの精神、合理化、選択と集中が反映されていれば良いと思います。

(山口会長)

作業は、昨年度と同じように進めていきたいと思います。

以上で、第1回補助金等審議会を終了します。

ありがとうございました。

閉 議 9時55分

流山市補助金等審議会

会長 山口 今朝勝